

ゆうぐん

雄郡地区

面積：3.69 km²

人口：33,001人（高齢化率 22.8%）

世帯数：16,803 世帯

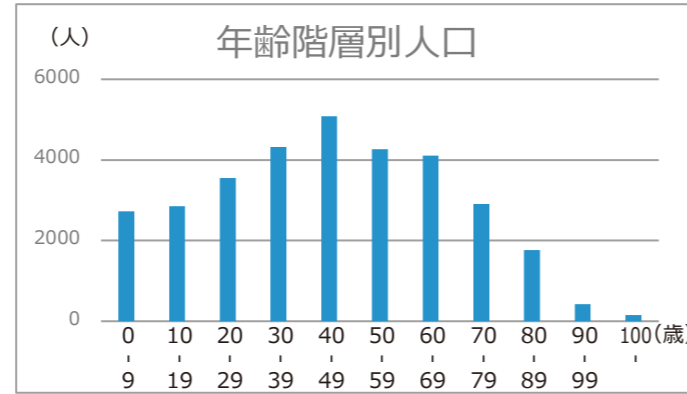


【地区の特色】

宅地、マンション化が急速に進み、市内でも人口が多い地区である。シンボルは「子規の歩いた道」で、子規によって俳句が詠まれた句どころ（雄郡神社・末広町の正宗寺など）も多い。郷土の芸能では竹原町・針田町の獅子舞が保存会として演じられており、義士祭・福運祭などがにぎやかに行われている。地区の木は「榿の木」で、花は「サルビア」である。近年は都市化が一段と進んでいるが、今なお伝統や文化を大切に作る気質が残っている地域である。



雄郡地区成人式



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地区と商業地区がうまく共存しており、生活しやすい サロン活動が活発である ・地域、学校、PTAなど各団体が協力している 松山中心部に位置しており、生活に便利である 郡中線により中心部との行き来は便利 雄郡公民館と連携して充実した活動ができている ・歩道が整備されつつある 水質がよいため井戸水を使用しているところもある まちづくり協議会が中心となり三世代交流や芝居、認知症カフェなど行事が盛んである
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> 地区が広すぎて事業活動の分割をよぎなくされ、一カ所で事業を行うと参集しにくい 交番が少ない ・西部は交通が不便なところがある ・地域のつながりが希薄 マンション、駐車場が増え住民のつながりが希薄になりやすい 放置された田畑や空き家が増えている ・場所によっては歩道の整備が不十分 木造の密集家屋が多い ボール遊びをする場がない 独居高齢者は増えているが高齢クラブに入会する人数は減少している
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者は増加しているが、高齢クラブが減っており、外出の機会が少なくなることを懸念する 地域が広いので、一人暮らしをしている人や生活困難者の把握がしにくい マンション住民が地域との関係を持ちたがらない 買い物困難者の心配 空き家対策 ・建替できない家屋が多く道路が狭い ・猫が多い 世話役になる中心的な人がいない（町内会の役員になる人がいない）

雄郡地区社会福祉協議会

こころをつなぐ“絆”まちづくり

<拠点> TEL：080-4037-0294

構成団体	地区民協・自治連合会・公民館・分館・高齢クラブ連合会・PTA 子育てサロン・スポーツ推進員
主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年3回12,000部を作成し、回覧板で地域福祉に関する情報を発信しています。小中学校にも配布し、家庭へ持ち帰ってもらうことにより地域の情報を幅広く周知できるよう工夫しています。
交流会の開催	サロン代表者会や活動研修会などで体操や脳トレーニングを学び、地域では絵本の読み聞かせやディスコン大会を開催するなど交流を深めています。
福祉講座の開催	地域で暮らしていくために、年数回、まずは地域を知るところからと考え、専門講師による認知症などの学習を行っています。

雄郡地区福祉まつり（6月頃）

地域住民の世代を超えた福祉の交流の場として年に一度開催しています。高齢者のサロンや児童らによる発表会やPTA等によるバザーもあり、例年約800人の参加者が集います。世代や立場を超えての交流により地区の福祉活動への理解を深め、助け合いの絆を育んでいます。



<地区社協が目指すもの>

雄郡地区の高齢化率は22%を超え、超高齢社会を迎えました。高齢者にとって住みよい地域は障がいのある方や子どもにとっても住みよい地域となると考え、地域住民がお互いさまの気持ちで支え合える絆づくりを大事にしています。たとえ認知症になっても安心して暮らせる地域となるよう、公民館、まちづくり協議会、高齢クラブ、地区民協、小中学校と協働して福祉活動への参加をつないでいきたいと考えています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	48名 3名	■町内会・自治会・区長会等	26団体
	■まち協の設立	平成21年度	■高齢クラブ	11クラブ
			■子ども会	29団体
			■自主防災組織	40組織

利便性に富んだ都市と、小中学校・高校などが集まる学生のまちの両方が混在する地区です。雄郡地区社協では、毎年、小学校で「福祉まつり」の開催や認知症カフェを展開しておりまちづくり協議会、公民館、地区民協など関係団体が地域住民と連携を図りながら誰もが暮らしやすい街づくりを目指しています。地区内の高齢化は進んでいますが、これらの活動は認知症を理解するための啓発活動に大きな効果を発揮するとともに、地域住民や高齢者自身が福祉活動の担い手となる機会と場を創り出しているといえるでしょう。また獅子舞といった伝統文化の継承活動を通じて住民同士の交流や地域支援ネットワーク形成にも波及する活動であり世代を超えた取り組みが今後も期待できるでしょう。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
中島地区	

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

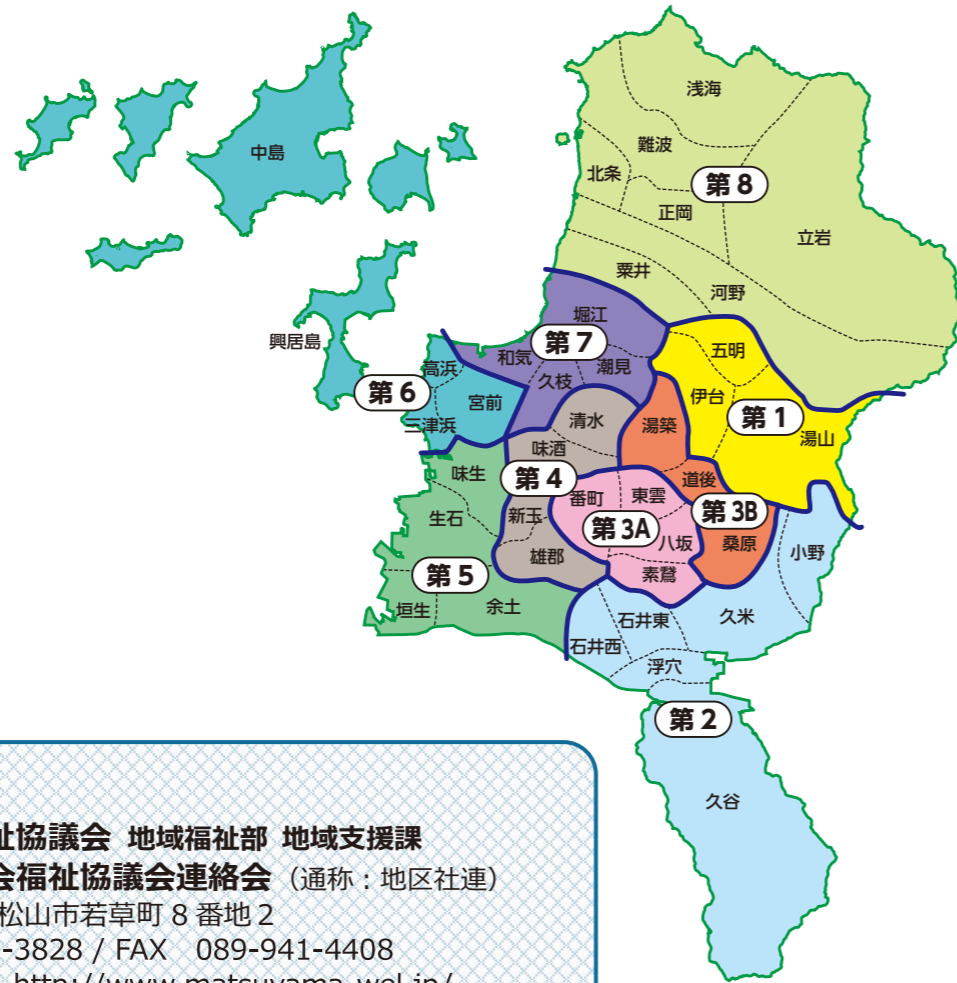
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称:地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要
②地域住民からみた地域の状況
③地区社協の概要と取り組み
④地区内関係団体データ
⑤地域福祉推進のポイント

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏